

質問項目	新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた人流の分析について
<p>質 問</p>	<p>〔質問者 村上 直樹 議員（公明党）〕</p> <p>はじめに、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた人流の分析についてお伺いします。</p> <p>地方創生の手立ての一つである、都市部と地方の交流を活発にし、地域と継続的に関わる関係人口の増加に向けた取り組みについては、平成30年9月議会で提案をさせて頂いたところです。ところが、今はその都市間交流が新型コロナウイルスの感染拡大につながるとして、皮肉なことに、地域を脅かす原因となっており、地域間の往来自粛が強く求められているとともに、地域内においても不要不急の外出を控えることとなりました。緊急事態宣言の期間中は、離れて暮らす家族や友人・知人を気遣い、不安を抱えている方も多かったと思います。ただ、今は我慢の時であり、乗り切るための覚悟が必要だと思います。そこで、2点お伺いします。</p> <p>1点目に今回の緊急事態宣言の中、不要不急な外出の自粛や都市間の往来自粛が促され、さらに、人との接触を8割減らすという目標も政府より出されました。そのような中、携帯電話の位置情報に基づく滞在人口の推計データといった人口変動の情報が連日報道され、本市においてはJR小倉駅周辺の情報がでております。そこで、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、人口変動や人の流れといった観点から分析状況や課題について、お伺いします。</p> <p>2点目に感染拡大を防ぐ一助として、位置情報データを活用し、人流の変化・移動の傾向・勤務形態の変化などを可視化した人流の分析を独自で行う自治体も出てきております。外出の自粛を強く働きかけるため、広報誌などに加え防災アプリへの配信や行政無線なども活用するそうです。本市においても地域間の往来に関する調査や、市街地の人の流れの分析を行い、ホームページ等で公表する事が出来ないか、見解をお伺いします。</p>
<p>答 弁</p>	<p>〔答弁者 山本 浩二 新型コロナウイルス感染症対策室 担当理事〕</p> <p>私からは、新型コロナウイルス感染拡大に向けた人流の分析及び児童福祉施設などへの空気清浄機の導入について併せてご答弁申し上げます。</p> <p>まず、人口変動や人の流れといった観点からの分析状況・課題についてでございます。</p> <p>本市におきましては、4月7日に緊急事態宣言が発出されて以降、市民の皆様にはできるかぎりの外出自粛をお願いしている状況でございます。</p> <p>JR小倉駅周辺の人の流れの推移につきまして、感染拡大以前（令和2年1月18日～2月14日の平均値）と比較いたしますと、緊急事態宣言が解除される前の1週間（5月8日～14日）では、平日で約5割、土日で約7割の減少、宣言解除後の1週間（5月15日～5月22日）では、平日で約4割、土日で約6割の減少となっており、徐々に人の流れが増加したと推測できます。</p> <p>一方で、24日ぶりに新規陽性患者が発生した5月23日からの1週間では、平日、土日ともに約4割の減少でございます。</p> <p>そしていわゆる「第2波」のなかの直近10日間（5月10日～6月8日）でございますが、平日で約4割、土日で約5割の減少となっておりまして、人の流れの増減は、5月23日以降、ほぼ横ばいの状態でございます。</p> <p>以上の分析から、現在に至るまで、市民・事業者のご協力によりまして、感染拡大防止のための外出の自粛は、かなり徹底されているのではないかと推測しております。</p> <p>一方、課題といたしましては、この分析結果には、変動要因とならないJR小倉駅周辺の居住者も一部含まれていること、本市は製造業が多い地域で、以前より臨海工業地帯に多数の工場が立地しており、マイカー通勤者が他都市に比べ非常に多く、人の流れが減少しにくいことや、テレワークの導入・推進も難しいことから人の流れは他都市と比べ減少</p>

<p>答 弁</p>	<p>しにくいといった課題もございます。</p> <p>このような課題はございますけれど、人と人との接触をできるかぎり減らすことが重要でございます。そのため、「5つの行動目標」を市民の皆様に一層周知し、感染拡大防止に市民の皆様と一丸となって取り組んでまいります。</p> <p>失礼いたしました。先ほどの答弁の中で直近の10日間、5月30日から6月8日と申し上げるところ5月10日と申し上げました。訂正してお詫び申し上げます。5月30日から6月8日でございます。</p> <p>続きまして、地域間の往来に関する情報や、市街地の人の流れなどの分析を行いホームページ等で公表する事ができないかというご質問です。</p> <p>議員からご質問のございました自治体の事例では、新型コロナウイルス感染症対策データ解析といたしまして、患者の発生状況、地下鉄の駅における交通系ICカードを利用した乗客数の推移、バイパスにおける車両通行数、ゴールデンウィークの買い物に関する指標、外出状況等に関するアンケート結果などを分析し、市のホームページで公表しております。</p> <p>本市におきましては、新型コロナウイルス感染症に係る検査状況や、陽性患者の情報につきましてはホームページで公表し、随時更新しているところでございます。</p> <p>人の流れの推移につきましても、NTTドコモの統計を活用いたしましてJR小倉駅周辺の状況を確認するなどの分析を行っている状況でございます。</p> <p>しかしながら、他都市の事例等も参考に致しつつ、本市における人の流れや地域間の往来等につきまして調査・分析し、感染拡大防止に役立てることができるように、研究してまいりたいと考えております。</p>
<p>第 二 質 問</p>	<p>[質問者 村上 直樹 議員（公明党）]</p> <p>人流の分析について、今回紹介したのは神戸市のことを紹介させてもらっています。他の地域でもやられているところも結構あるみたいですよ。</p> <p>北九州市は市のホームページでもどんどん公表しているということで、人流については小倉駅でやっていますが、小倉駅だけでよいのかなというのが私の思いで、神戸はビッグデータをオープンデータとして公開しています。</p> <p>今回、感染拡大防止という観点から質問をしました。1日も早く収束することを願ってはいますが、今後、感染が収束した際に、コロナ対策だけの数値だと本当にもったいないなと思って、ビッグデータ・オープンデータとして公表すれば二次データとして当然、行政・市としても使える可能性があるし、民間の事業者の方々も使えると思うのですが、その観点からどう思われますか。</p>
<p>答 弁</p>	<p>[答弁者 山本 浩二 新型コロナウイルス感染症対策室 担当理事]</p> <p>議員ご指摘のとおり神戸市の事例等も、色々と研究させていただいております。議員のおっしゃるとおりオープンデータ化について、現在、まだそこまで一部至っていないところもございますので、コロナの感染症対策が一段落した時には、その方向に向けて検討させていただきたいと考えております。以上でございます。</p>
<p>第 二 質 問</p>	<p>[質問者 村上 直樹 議員（公明党）]</p> <p>分かりました。ぜひ検討して見ていただければと思います。よろしく申し上げます。</p>